

高退教

岡山

第 154 号

2018 年 8 月

岡山県高校・障害児学校
退職教職員の会

〒703-8258

岡山市中区西川原255番地

岡山県教育会ビル3F 岡山高教組気付

TEL (086)272-2245

Fax (086)272-2242

目 次

平和とゆきとどいた教育を	…………… 岡山高退教会長 萱 栄次	1
万難を排して ～第39回高退教総会報告～	…………… 備西支部 清水親義	1
2018 年度岡山高退教役員		4
高退教総会 午後の学習と交流	…………… 岡山支部 居郷 毅	4
退職後も多方面に活躍示す作品群 ～第 20 回作品展～		
…………… 岡山支部 小川澄雄		6
第 20 回(2018)岡山高退教作品展目録		7
2018 年定期総会 返信はがき紹介		8
雲辺寺山から豊稔池へ ～第 48 回自然歴史探訪～		
…………… 岡山支部 美甘 晃		16
年金引き下げ違憲訴訟を勝ち抜くために		
…………… 田中 博(全日本年金者組合岡山県本部書記長)		18
編集後記		

平和とゆきとどいた教育を

岡山高退教会長 萱 栄次

今の日本の政治ほど異常な状況はありません。先の国会では、民主主義の国では考えられない出来事の連続でした。また、世界でただ一つの被爆国なのに、国連での「核兵器禁止条約」採択には、参加しませんでした。

このような政権が、最も重要視しているのが「憲法9条」の改憲です。当然9条ですので、直接的には、平和・軍事力の問題ですが、同時に、憲法にもとづいて教育活動をしている教職員にとっては、9条改変は、まさに、教育問題そのものといえます。今の政権が主張している9条となれば、たちまち、教師には「教え子を戦場に送る」教育が求められます。日本の教育の180度の転換となります。

歴史的に、教育は、常に社会を変革する重要な役割を担ってきました。教育は歴史を変えるとと言っても過言ではありません。

現在、私たちには、憲法9条を守るとともに、日常の教育が、子どもたちにとって、より豊かになるよう、教育諸条件の整備など「ゆきとどいた教育」の実現が求められています。この運動を大きく前進させる中で、2020年の高退教創立40周年を迎えたいものです。



万難を排して

岡山高退教第39回定期総会報告

備西支部 清水親義

7月8日、平成最悪の豪雨災害に見舞われ、開催さえ危ぶまれる中での「岡山高退教第39回定期総会・学習交流会(於 岡山県立岡山工業高校)」開催となりました。在来線が全面的に止まり、道路も各地で寸断という状況でしたが、ひとり増え、もうひとり増えと、最終的には参加予定者(47名)の8割を越える会となりました。

開会に先立って、濱越唯利さんのアコーディオン演奏のもと、懐かしさに浸りながら「鐘の鳴る丘」を全員で歌いました。合唱後の、この歌の背景についての解説中、「菊田一夫も孤児だった」というくだりでは、いくつもの驚きの声が上がりました。

このドラマに誘発されて、戦争孤児たちと共に靴磨きや道路工事の手伝いをしながら、昭和28年に「おいらの家」を完成させた品川博青年の行動は、濱越さんの言葉通り、まさに「加計学園と逆」の方向にあるもので、品川青年の志と比較すると、加計学園のおぞまじさが際立ちます。



この後、議長選出で備西地区の西功さんが議長となり、そこから小林軍治副会長、萱栄次会長の挨拶と続きました。

副会長挨拶の中で印象的だったのは「戦争、暴力の反対語は平和ではなく対話です」というフレーズの紹介でした。対話が成立しない現在の政治状況や世界情勢を考えると、この挨拶に続く会長挨拶の中の「9条改悪は、軍事力問題というだけでなく、教育の問題という捉え方が必要」で、「我々は『教え子を戦場に送らない教育』から『教え子を戦場へ送る教育』への転換を容認できるのか」という問いかけと共に、今何が必要なのかを厳しく考えさせられるものでした。



総会に移り、藤原斌事務局長による経過報告が行われました。活動はまさに小さなことの積み重ね。岡山高退教の活動も多岐にわたり、一言では言い表せない幅の広さです。

私清水が特に感じたことは二点。まず一点目は「事務局のおかげだなあ！」ということ。様々な活動の裏には当然必ず準備があり、その中心は事務局ですから、11回という事務局会議の回数には頭が下がります。この上にさらに4回の幹事会もあるのですから。

二点目は、「これも対話かな？」ということ。2017年に初めて、岡山県退職教職員会、岡山県退職女性教職員の会、岡山高退教という三者で、統一した取り組みが可能となったのです。本来敵対する関係にない組織同士でも中々共闘できないという現実があるのは悲しいことですが、これを乗り越えたわけです。この問題では岩佐仁志さんに特別の発言が求められ、実現に至るまでの経過が報告されました。

中西孝さんの報告は、一筋の希望の光を見せてくれるものでした。

中西さんたちが、安倍改憲反対の活動をしているその前を、高校生たちが通学のために日々通り過ぎていく。それは何でもない日常的な風景で、それは何度も繰り返されるだけのように見えたのだが、そんなある日、「おじさんたちはもう戦争に行くことはないのに、戦争に行かされるのは私たちなのに、こうやって私たちのために運動を続けて下さっているんですね。」という声が突然掛けられた、というのです。

対話の誕生です。胸にグッと来ました。

決算や予算関係については、河原和子さんのご尽力のお陰という一言に尽きます。それも、極めて長期間です。

会員の皆様、どうか会費の納入を忘れず、無駄な手数料の掛かる窓口扱いを止めて、ATMかネットによる送金を心掛けて下さい。

総会の締め括りは、衣笠祥子さん朗読による「特別決議」でした。埼玉県から参加の武田昭一さんから、「衣笠さん採用の時、面接をしたのは僕です。」というような昔話も飛び出し、会場が湧きました。(注 面接云々は、実は夜の懇親会の話で、清水の記憶違いでした。)

役員改選では、副会長として長年高退教を支えてこられた難波娃子さんが今回副会長を離れられ、今後は顧問として見守っていただくこととなりました。長年のご労苦とご活躍に感謝と敬意を表して、この報告を終わります。



2018年度役員

会長	萱 栄次		
副会長			
〃	小林 軍治	三上 雅弘	(岡山高教組委員長)
事務局長	藤原 斌		
事務局次長	河原 和子	小川 澄雄	
	藤原 洋平	山本 和弘	
	美甘 晃	居郷 毅	
	難波 欽子	(新)	
幹事	岡山支部	井上 俊清	衣笠 祥子
	〃	島田 宏恵	和田 茂 (新)
	〃	田中 豊子	(新)
	備南支部	綾野 保晴	犬飼 繁
	旭東支部	岡田 憲朗	岸本 幹雄 (新)
	備西支部	清水 親義	西 功
	備北支部	土井 彰	逸見 健治
	美作支部	山本 美佐緒	草地 浩典
会計監査	田中 博	杭田 利晃	
顧問	鴨川 恵美子	高垣 章二	
	中田 啓司	難波 娃子	(新)

※幹事(旭東支部)の岸本さんは総会後にお願いしました。

高退教定期総会 午後の学習と交流

岡山支部 居郷 毅

岡山高教組書記長の松本太さんを講師に迎え、今の高校現場の抱えているさまざまな課題について、報告していただいた。教職員の働き方、人事評価制度、子どもの貧困、国と県がすすめる教育施策、部活動問題、…

どの問題においても状況は深刻かつ複雑。語られた実態は、どれも想像を超えるものであった。

以下、紙数の都合で、学校現場の多忙化と人事評価制度に絞って述べる。



1972年に制定された、限定4項目以外は時間外勤務を命じられないと定める「給特法」における教職調整額4%は、1966年の勤務実態調査の結果が根拠になっている。当時の時間外労働は1週間で1時間48分、2013年調査の時間外労働は15時間9分。給特法の建前と現実との乖離は明らか。教職員の善意、熱意につけ込んだ「やりがい搾取」によって、賃金抑制は常態化し、無償の長時間労働を強いられている。さらに、特色の維持、成果の上乗せが求められ続ける「看板掲げ競争」限られた人員で限りない仕事をし続けなければならない「ビルド&ビルド」の状況が追い打ちをかける。教員採用試験の志願者数が減少し、休職・退職者も増加傾向にあるのも当然のことだ。そうした学校現場のブラック化に拍車をかけているのが、人事評価制度と「賃金リンク」。

「新しい教職員評価システム」の「全校試行」は2006年度に始まった。あれから10年を経て（2012年の県教委「提示」以降4年間は阻止したものの）ついに「賃金リンク」は導入されるに至った。

以下は、評価システム・賃金リンクに対する高教組アンケートからの抜粋。

- ・働いている者、仕事ができる者が多くの給料を得られることは当然。組合も、働いていない、できない、モチベーションが低い者まで一律に給与を求める考え方を改めては？
- ・職場内に士気の低い先生がおられるのは事実であり、組合としてもこの問題を避けて通っては、いつまでも県民に理解されないのではないか。
- ・「目に見える成果」を出した人だけが評価される。この「目に見える成果」を出すために、新たな試みや短期間で結果が見えることを作り出していく傾向があり、それが自分たちの「首を絞める」ことになっている。「見える形」を重視する成果主義は、教育現場になじまない制度だ。
- ・賃金リンクがあろうとなかろうと、自分のやるべきことをきちんとしていくだけだ。評価を上げるために頑張ろうという気にもならないし、他人と競争しながら「教育」という仕事に向かう気にもならない。だからといって、手を抜くわけではなく…。目の前の生徒を大切にしながら働くことが、自分の中では一番重要なことだ。

現場の声は多様。一筋縄ではゆかないジレンマを孕んでいる。多忙化の中で、仕事への負担感の大きい教職員を中心に肯定的な意見も少なくないことに衝撃を受けた。危惧されるのは、職場のチームワークが壊され、教職員が分断されること。

安倍「教育再生」のもとで、学校現場を管理し、教育の自由を制限する次期学習

指導要領による「国づくり」が正体を現しつつある。その危険性を注視、分析をしなければいけないが、現場は日々忙しく、目の前のことで精一杯、批判的に対抗していく力が生まれてこない。組合活動の意義、平和、憲法、要求することの意義についても“思考停止”に陥っている。青年部アンケートからも、無理解・無関心が広がっている実態が報告された。組織率の低下（今や3割強）も止まらない。

しかし、絶望、悲観してばかりはいられない。総会の報告で紹介されている体験談の中での中西さんの感想「今どきの高校生も捨てたもんじゃない。」「長野、山口、岡山がかろうじて持ちこたえている。高教組が一定の役割を果たしている。」という岩佐さんの発言等には、大いに励まされた。同時に、退職教職員として、一市民として、私たちに何ができるのか。学校現場の教職員と子ども・生徒たちを応援し、励ますために何をすべきか。痛く考えさせられた。

退職後も多方面に活躍示す作品群

～高退教第20回作品展開催される～

岡山支部 小川 澄雄

岡山高退教の第20回作品展は、7月3日（火）搬入、7月4日（水）から7月8日（日）までの日程で生涯学習センターを会場に開催されました。耐震工事のため、



展示コーナーがやや狭められましたが、会場いっぱい作品が展示されました。数年前から出品者の減少が指摘されてきていましたが、今回もこの傾向に歯止めがかからず、出品者は24人（第19回は32人）にとどまりました。それでも出品された作品群は、絵画・写真・書・服飾・手芸・工芸等々内容豊かで、高退教会員が退職後も多方面に活躍していることを示す作品展となりました。

高齢になった先生方がだんだん作品を出せなくなっています。高退教の作品展の維持発展を図るためには、退職後間もない比較的若い先生方に作品展への参加を促すとりくみを本気になって行うことが求められます。

西日本集中豪雨の時期と重なったこともあり、見学者が例年より少なかったことが残念でした。事務局の不手際で、木村徳子先生の漆器作品群が作品目録から漏れていたこともお詫びしなければなりません。申し訳ありませんでした。

展示作品目録

☆は協賛

〈写真〉

「開封の菊まつり」	犬飼 繁
「炎帝と黄帝」	犬飼 繁
「龍門石窟」	犬飼 繁
「洛陽の露店」	犬飼 繁
「歩く」[2]	荒木 敏和
「北海道 秋の旅」[3]	井上 俊清
「サンコウチョウ」	☆三宅 茂子
「アオバズク(幼鳥)」	☆三宅 茂子
「トモエガモ」	☆三宅 茂子
「折々の美作長福寺」[8]	山本 和弘
「深山公園のコマドリ」[4]	山本 和弘

〈絵画〉

水彩「紫モクレン」	三宅 通明
水彩「ネコヤナギ」	三宅 通明
水彩「桃」	三宅 通明
水彩「エジプト風景1」	中村 清子
水彩「エジプト風景2」	中村 清子
水彩「エジプト風景3」	中村 清子
アクリル画「王子が岳より備讃瀬戸を望む」	濱越 唯利
油絵「堂々川の砂留」	島田 宏恵
油絵「藁ぐろのある風景」	島田 宏恵
油絵「枇杷」	島田 宏恵
パステル画「裸婦」	☆渡辺 暉夫
油絵「薔薇」[2]	☆鈴木 操子

油彩「乙女の祈り①」 武田 芳紀

油彩「乙女の祈り②」 武田 芳紀

油彩「乙女の祈り③」 武田 芳紀

油彩「イワシの頭と茅の輪」 武田 芳紀

水彩「ユースホテル宿泊の旅 フランス」

水間 正雄

水彩「出陣と母」 水間 正雄

水彩「室内」 美甘 晃

〈書〉

「掛軸」[2] 小川 澄雄

〈工芸〉

木工「櫨造り時代箆笥」 ☆島田 保弘

木工「一輪挿し(ブナ)」 ☆島田 保弘

木工「ペーパーウェイト(桧・タモ)」[2]

☆島田 保弘

手芸「布製のブックカバー」[3] 田中 豊子

服飾「手織りのジャケット」 河原 和子

手芸「パッチワークのタペストリー」 河原 和子

手芸「パッチワークのタペストリー」 衣笠 祥子

手芸「手提げ袋」 衣笠 祥子

手芸「御殿まり」[数点] 衣笠 祥子

服飾「作州紬の着物(紫陽花)」 鳥取 純子

服飾「手つむぎ糸の名古屋帯」 鳥取 純子

工作「竹の犬」[2] 難波 欽子

工芸「粘土人形」[3] ☆杭田 千穂

漆器作品[数点] 木村 徳子

2018年定期総会 返信ハガキの紹介

〈岡山支部〉

青山 一郎

食べて、寝て、読んでの毎日を、しかし頑張
って生きています。

またどこかでお会いしましょう。

赤木 洋子

3月に脳梗塞を患い後遺症(視野欠け)で少々
不自由なくらしをしています。

健康で平和の中でくらしたいものです。

有岡 弘道

再任用1年目です。全く退職した気がしてい
ません。

安東 誠

活動計画に賛成します。

危機感と希望を共有し、超高齢者なりに出来
ることを続けたいと思います。

石原 律子

体力維持のため貯筋に励んでいます。ご盛会
をお祈りいたします。

磯部 作

年金生活の独居老人ですが、放送大学客員教
授の仕事や岡大の非常勤講師をしており、他の
理事や委員などの仕事もあり、貧乏暇なしで、
13の部屋は本や資料でゴミだらけ、庭は草茫々
です。8月からは孫が増えるため、孫育てもあ
りますが、環境などを守るため、微力ながら努
力していきたいと考えております。

板津 定邦

とうとう後期高齢者の仲間に入りました。70
代に入って体の各部位に変調を感じるようにな
りました。まず梅や沈丁花の香、感じなくなり、
耳が遠くなりつつあります。

気持ちだけは若くいたいのでボランティア
を初め様々なことに挑戦しています。少し欲張

りすぎかなとも思いますが…。

井上 けんじ

3月に久しぶりの海外旅行をしてきました。
台湾なので出費は抑えられました。直後から
(アプリですが)「中山道の旅」に出発し、あ
と少しでゴールです。「奥の細道」もアプリで踏
破しましたが、足腰きたえるのに多忙です。映
画館へも週一回通っています。

井上 俊清

北海道の旅にはまっています。今年もテント
を積んで4500km走り回りました。

内田 都美子

他出につき不出席

大西 淳一

申し訳ありませんが、多忙のためまた体調が
少し…なもので欠席させていただきます。連絡が
遅くなって申し訳ありませんでした。ご盛会を
お祈りいたします。

大西 淑江

いつもお世話になります。介護生活7年目に
入ると、正直苦しいと思うときもありますが、
支部の交流会に参加させていただき、リフレッ
シュしております。何もお役に立てませんが、
今後ともよろしくお願ひします。

岡本 耕治

最近は病院と友達となっています。瀬戸町南
方にしばらく暮らしています。

小川 澄雄

学校の仕事(これまで非常勤講師していた)
から完全に離れたが町内会長を再びおしつけ
られ忙しくしている。岡山古文書を読む会では
宿題の添削係をして2年目を迎えている。40人
を超える同好の士と筆文字にとりくむのは楽
しい。くせ字には大いに悩まされるが、本物の
歴史の一コマをかいま見ることができる。何物

にもかえがたい。

河原 和子

同期の友人たちの身体の変調を聞くことが多くなり、運動嫌いだったのを思い直して身体を鍛えるようになりました。良いと言われることはできるだけ取り入れるように頑張っています。

衣笠 祥子

何かとバタバタの毎日です。いろんな『かわり』を整理したいと思うこのごろです。

木村 徳子

年と共に体力、気力のおとろえを日々感じています。毎日忙しくバタバタ暮らしていますが何とか元気です。

河内 郁子

岡山を離れて 10 年になります。こちらでも多くの仲間ができました。元気にやっております。

小林 軍治

私の好きな言葉は“対話”です。もう一歩すすめれば「対面対話」かな。

さて 6 月で全退教の中国・九州ブロックの幹事（4 年の任期）を終えほっとしています。現在は「安倍 9 条改憲 NO！」3000 万署名に街頭や地域で全力で取り組んでいます。中国帰国者の日本語教室、日中文化交流会など日中友好活動もつづけています。

楽しみは①韓国ドラマを見ること②広島カープの応援③岡山南校 OG、現役の女子ソフトボール部との交流④3 人の孫との会話などです。

来年の 9 月で喜寿になります。毎日忙しく動き回っています。

篠原 和子

残っていました！

島田 宏恵

当日は親戚の法事のため欠席します。ご盛会

をお祈りします。昨年より絵本の読み聞かせなど小さな子どもにかかわるボランティアをしています。楽しく新鮮で元気をもらっています。

白神 憲一

いろいろお噂のある、とある大学で教職課程の非常勤講師をしています。大学の経営陣はともかくとして、学生は皆まじめで（少なくとも教職課程を履修する学生は）楽しく教壇に立っています。

曾田 康載

鳴かず飛ばず

なお、妻（和子）は県母親大会に出席します。

田中 豊子

会報が読みやすくなり、記事も読みごたえがあって楽しみです。編集、発行には、たくさんの労力と、アイデアの成果が集まっていることに感謝しています。

津嶋 宣夫

こんにちは、表面的には一応元気でやっています。毎日、草刈りのこと、お宮のことで忙しくしています。足腰の動きは少しずつ鈍くなっています。楽しいお酒も次の日のことを考えるとひかえるようになってきました。またどこかでお会いしましょう。

徳方 宏治

市民を相手に世界史を長年話しているので現役感覚で過ごしています。

中村 清子

絵本のよみかせ活動・俳句・水彩画・庭の草木の世話、7 人の孫に囲まれ、充実した生活を送っています。昨年はエジプト、今年は念願のマチュピチュ、ウユニ塩湖へ行ってきました。すべて平和であればこそです。

「戦争が廊下の奥に立ってゐた」 渡辺白泉 不気味ですね。

難波 欽子

総会は欠席させていただき、午後から作品展のお当番はします。

真向法体操の会長役に振り回されていて、高退教への協力ができなくて申し訳ありません。自然体験リーダーズクラブの活動も逃げられず、若者たちと自然の中で遊んでいます。

西村 晴江

退職して3年目になりました。4月からは高校へ3日、専門学校へ1日、非常勤講師として勤務しています。

服部 仁壽

足が悪くなり歩けなくなっています。

花田 千春

県母親大会（西大寺）と重なっているので残念ながら欠席します。おせわありがとうございます。

だがしや「はなだや」しています。お越しください。

*「はなだや」897-5540（関西町3-5）

松田 喜代子

7月8日は西大寺で岡山県母親大会があり、そちらに参加しますので欠席します。今年も健康第一で趣味の会、ボランティア、旅行にと、出掛けます。

松田 英臣

週5日非常勤で勤めています。

峰松 義夫

高齢 身體不自由、缺席不悪

森下 弘道

いつの間にか病気とのたたかいいに入りました。この嫌気も必ず克服できるものと頑張っています。盛会をお祈りいたします。

美甘 晃

急ですが、実家の都合で当日田舎に帰らなくてはならなくなりました。

山口 京子

いつもお世話になっています。5月の歴史探訪に参加させていただきました。お知り合いの方々にも会え、楽しい時間でした。倉敷でも朗読、地域の活動にと忙しく過ごしています。お写真同封していただきありがとうございます。

山本 和弘

週2回商大専門で留学生相手の日本語講師3年目、コミュニケーションの難しさを痛感。その他ボランティア的社会活動にもぼちぼち参加。時間に追われる毎日です。

横田 晴美

H29年9月1日～H30年3月31日までA老人施設へ入所した（体調に限界あり）。4月1日から我が家で過しているが7ヶ月の別天地で「生き抜く力 精神と努力の学び」であったと思う。

横田 廣太郎

岡山高退教定期総会と書道展の審査が重なり欠席させていただきます。書道研究墨友会の副会長という立場上、書道会の方へ出席させていただきます。

当日は、墨友会展の審査と月例審査が重なり、夕方まで時間がかかりますので懇親会も欠席させていただきます。活発な協議がなされますよう、会員の皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。

春の交流会の写真ありがとうございます。

吉和 淳

当日は伯母の法事のため欠席します。盛会を祈ります。

〈備南支部〉

石井 淳平

体調が十分でなく、何とか生活しています。
(現住家宅が放火され、古い家に住んでいます)

石川 昌宏

まだ非常勤講師やっています。週 14 時間、4 日間働いています。

犬飼 繁

モリカケ疑惑を解明し、安倍政権を必ず打倒しましょう。

岩佐 仁志

退職者ではありますが、県教組の方々と共同して 9 条改憲反対アピールができたことは歴史的出来事ではなかったでしょうか？ 平和が一番！ ガンバリましょう！

岡田 純爾

昨年 9 月末で児島の佐藤眼科を退職し、今年 5 月より、児島准看護学校にパート (週 2 日午後のみ) で勤めています。

昨年未から新年にかけて、インドのムンバイ、コルカタ、ネパールのカトマンズを妻と訪れました。トラベラーズ・チェックが使用できないことや支払いがキャッシュカードでできることなど、いろいろ新しい体験をしてきました。ムンバイではハンセン病がまだ課題であることも患者さんに会って分かりました。

岡本 和子

欠席ばかりですみません。95 才になり車椅子生活ですが、元気にすごしております。ご盛会をお祈りします。

荻野 真理子

総会は他の行事と重なっていますので欠席させていただきます。年令による不調はあるもののなんとか元気にやっております。

盛会をお祈りいたします。

鴨川 恵美子

週 2 回のデイケアに真面目に通っています。私の断捨離から免れた沢村貞子のシリーズ「貝のうた」「老いの道づれ—二人で歩いた五十年—」など 40 年ぶりに読んで感動しています。体調はまあまあですが、自身の体を御しきれない自分に戸惑っています。でも趣味で、唯一残っているピアノは毎日練習しています。

萱 栄次

毎日、ボランティアで動いています。これが健康を保つ道と思っています。

草薙 律

長年皆様にお世話になりましたが、今春岡山操山高校の非常勤講師を最後に教職を終えました。ありがとうございます。その後は終活を少しずつしながら妻の実家で農業をしています。安倍政権 5 年間で世の中全体がおかしくなったように思います。

正保 宏文

ボケ防止と健康のために倉敷市と総社市の境にある福山へ登っています。今年は、6 月 8 日現在で 35 回登りました。300m ほどの低い山ですが、見晴らしがよく、運がよければ大山が見えることがあります。

安倍政治に腹が立ったら福山へどうぞ！

武田 小夜子

毎回欠席ですみません

濱越 唯利

森友問題、加計問題、すべてをうそで固めた安倍政権にさよならする統一戦線を広げなければいけませんね。高退教もその一翼として大きな力になれるのではないのでしょうか？

平松 芳子

大変お世話になって感謝しています。今年も残念ながら総会を欠席させていただきます。議案書の件同意いたしますのでよろしくお願

いします。私は元気で夫の看病やら趣味の短歌や山野草、グランドゴルフを楽しく過ごしています。当日の総会のご盛会をお祈りしています。

三竿 増彦

かつてはせつせと総会出席、作品展への紙工品出展もサボり続けて……年。しかし気持ちの上では会員の一人として日々すごしています。会の更なる発展を祈ります。

依田 清

近年地域でも、現役世代と高齢者の交流の場が少なくなったし、その場での意見交換が希薄になったと感じている。

〈旭東支部〉

荒木 敏和

岡山高退教のHPをPCのデスクトップに貼りつけました。充実させていきたいですね。

池上 善久雄

長男夫婦は、隣の県の高校教員。帰宅は午後8時、9時。土、日の出勤もあたりまえとか。「働き方改革」って何のこと？ 8時間働いて普通の暮らしができるようになってほしい。岡山高退教に入る人が減少しているとか、淋しいです。組織と運動の発展を願っています。

井上 進夫

毎年楽しみにしていますが、今年は都合がつかず欠席します。

小野 信義

安部政権には困ったもんですね。それでも投票する人がいるのですからなお困ったもんです。国民の啓蒙が必要です。頑張りましょう。

岸本 幹雄

再任用フルタイム4年目です（玉野高校で1年、東岡工で3年目をやっています）。両親の介護や土日は農作業（ぶどう作りや草刈り etc.）をしています。初めて高退教総会へ出席します。

鈴木 三重子

ご案内ありがとうございます。外出が困難になりました。難波娃子先生によりしくお伝え下さい。御盛会をお祈りします。

竹内 良雄

岡山県の東の端は県境というのに無人駅になっていますし、こどもたちは少なくなって学校も小中一貫とかになりました。店がないので買物はいつも町外へというありさま、まさに限界集落で年寄りの一人になっています。議案書読みました。全面的に賛成、皆様お元気で。

辰田 芳雄

当日は『実隆公記』を読む会（第14回）の報告者になっています。ご盛会を祈念します。

今年度から史料編纂所の共同研究員になりましたので、上賀茂神社文書と取り組みます。

三宅 通明

議案に全面的に賛成いたします。

「野鳥の会」に加入して、探鳥活動を楽しんでおりましたが、最近高齢者の絵画サークルにも加入し、スケッチなどもして元気に過ごしております。

山本 明郎

病气静養中です。

吉永 隆光

国民学校時代（小学校）に戦争を体験した者として「日本国憲法の前文」を読むとき、これは今も光輝くものと感動いたします。

▼2000年6月の結成20周年の祝賀会（まきび会館）は会費のほかはカンパで開催…津山の元校長H先生が100口＝10万円をカンパされてきて開催のめどが立ったのでした。また一室を使って第2回作品展を、これは大好評でした。また岡山合唱団との共演で盛り上がりました。▼この会で80才以上の会員22人に記念品を贈ることにしましたが、出席されたのは3人とどまり、配慮が足らなかったと反省したもの

でした。(記念品は後に郵送) 記念誌 90 ページは会員全員に配布しました。▼小生、難聴に加え腰痛ひどく、残念ですが総会には欠席いたします。心より総会の成功を祈り上げます。

〈備西支部〉

青木 精一

元気で週 10 時間非常勤で頑張っています。

浅野 秀夫

修学旅行の引率で薩摩半島側の鹿児島・知覧・池田湖・長崎鼻方面へは行ったことはあるが、大隅半島側は行ったことがないなと元同僚たちと話し、昨秋ドライブ、指宿に宿泊、山川港よりフェリーで対岸より、佐多岬(佐田岬は愛媛県・四国最西端)へ。本土最南端佐多岬の立派な石碑あり。ここより北上、霧島(泊)。人吉城址、五木村(子守歌の里)、ここより国道 445 号はほとんど狭い 1 車線、松橋 IC より高速帰路、全員喜寿以上、無事に行けたなど安堵。

石井 美鶴

お世話になります

おかげさまで元気にすごしております

井上 了

まだ非常勤講師をやっています。ご盛會を祈ります。

岡田 潤

ご苦勞様です。お世話になります。毎年の 3 月下旬の備西支部の交流会は楽しみにしています。

総会に出席して懐かしい人にお会いしたいのですが、体調の関係でできません。高退教のご発展を心からお祈りいたします。

木村 信行

非常勤講師としてまだ働けることに感謝しながら、毎日を過ごしています。

今年 3 月から、介護福祉士を目指すフィリピン人に日本語の指導をしています。

佐藤 美加恵

お返事がおそくなり申し訳ありません。真夏のような暑さに、風の通る所を探して移動しながら過ごしています。8 月 18~19 日の瀬戸内市喜之助人形フェスをめざして練習しています。今年つきみ草(人形劇団)は、竹久夢二~美と真実を求めて~という人形劇にとりくんでいます。

総会に参加できませんが、いつもお知らせ、お世話ありがとうございます。

塩飽 岳人

総会の盛會をお祈りします。

小生、井原でボチボチやっています。

清水 親義

無肥料で、巨大な白菜づくりに成功! 今まで肥料をやっても白菜を育てることができなかったのも、うれしさも格別でした。

武田 芳紀

以前「人権 21」に連載していた「人権教育と〈迷信と科学〉」がこのたびブックレットとして「岡山人権研究センター」より発行されることになりました。題名『迷信と科学』(定価税込み 800 円) また、それを準テキストにして「学びの広場・岡山」で連続講座を持たせてもらっています。興味のある方(いや、ない方も!)ぜひお手に取ったり参加していただけるとありがたいです。(学びの広場連絡先: 086-223-1163)

西 功

ボランティア、コーラス、演劇鑑賞会と忙しくやっています。

富田 眞雄

毎日、体力維持のため散歩しています。趣味の囲碁もがんばっています。

水間 正雄

「大河ドラマ」の地を訪ねてスケッチ→個展

をライフ・ワークにしているので、沖縄・沖永良部・奄美大島・鹿児島と回って、現地の友人・イラク派遣の自衛隊員・外国や日本人の旅人とも話し、ハーモニカと似顔絵でビールをいただき楽しく過ごしてきました。「西郷どん」の次は大学の陸上部の先輩（箱根駅伝を作り、日本最初のオリンピック出場者とその監督）の物語です。

湯浅 二郎

30 余年のシルバーセンターの利用者であると共に、昨年度からセンターへ入会し、自分の都合のつく日だけいろいろな仕事を楽んでいます。

趣味の野菜づくりでは、春の白菜、レタス、タマネギ、ジャガイモ等、今年は大豊作で、県外の知人に送ったり地元の友人等にお届けし、喜んでもらっています。梅も大豊作で、梅干しや、ジュース、ジャム作りに追われています。

〈備北支部〉

相木 トシ子

いつもありがとうございます。お世話になっています。元気にしています。

荒木 克馬

特養へ入所中で参加できかねます。何とか元気で過ごしています。

生田 孝仁

小生、最近足(脚)が弱く歩行もままなりません。

石井 正美

なかなか参加できず申し訳ありません。でも会報でみなさんのご活躍を拝見するたび元気が出ます。

大久保 緑子

今年から会員になります。よろしく願います。

水地 秀寿

畑、山草刈り、近くの公園の管理、寺の法務などで忙しい毎日です。近くに来られましたらお立ち寄りください。

土井 彰

当日、柔道の審査があり、責任者のため、総会には出席できません。夜の部のみ参加させていただきます。

中田 啓司

昨年 11 月、旧制中学の米寿記念同窓会に出席した日の夜、自宅で意識不明、転倒、重傷。以後“死ぬまで頑張る”から“死なないう頑張る”に宗旨変え。「教え孫(?)を戦場に送らない」ため9条を守る活動と、当面、第49回の自然歴史探訪の構想に専念しております。

難波 誠

今年は、母の介護、町内会長を卒業、岡工で非常勤8時間楽しくやっています。

西村 毅

週2回非常勤として勤務していますが、現場を見る限り遅くまで毎日残っているようです。こういう状況はいつまで続くのでしょうか。教員同士のコミュニケーションも取れなくなっているようです。最も大切なのは、人としての心の繋がりだと思います。

逸見 良安

昨年末より膵臓がんと診断され、現在抗がん剤治療を行っています。状況により変化があると思いますが、近いうちに手術の方向になっています。皆様にご迷惑をおかけしていますが、お察しいただければありがたいです。出席者の皆様方よろしくお伝え下さい。

宮田 靖子

家族の入院(母、102才)などもあって投函日を過ぎてしまっており申し訳ありませんでした。

山本 浩

晴耕雨眠？ 天候と相談しながら緑と戯れています。従って「見た目と精神的」には頗る健康です。

〈美作支部〉

赤座 匡

高齢化で人手不足になった町内会の行事と重なり参加できません。会員の皆さんのご健勝を祈ります。

小川 憲一

総会議案を白紙委任します。

河井 凡

専門学校の夜間部の学生、私立高校非常勤講師、陸上競技協会の役員、いろいろとやっています。

草地 浩典

年金生活の苦しさをひしひしと感じている。今までの常識が通用しないような空気が大きくなりつつあるのが大変気になる。

高階 重和

全議案に賛成します。折角のご案内ですが、長時間の外出は困難なので。目の見える限り、筆の握れる限り、只管、日本国憲法を守る活動を続けます。御盛会を！

垂井 一新

今年もホタルが幻想的な光を灯してくれました。先日(6/6)一泊二日で検査入院。心臓にカテーテルを入れた後の経過を調べるためでした。結果は良好とのこと。これで死ぬまで生きられると一安心しているところです。体力は衰える一方ですが。

友直 久徳

私 70 歳になりましたが週 2 回の仕事は続けています。私にとってかけがえのない利用者 1 名を先日がんで失いました。すごくかなしい出

来事でした。みなさんに 1～2 年でも健康で長生きをしていただきたく竹炭を今も利用者と一緒に作り続けています。知的障害者の給与アップとみなさんの健康保持のため 100 g 200 円ぜひ買ってほしい。

福田 良夫

地域の草刈り作業があります。「NHKのど自慢」も開かれます。

山本 宣子

安倍自公政権はよくもここまで、と怒りでいっぱいです。お話しにならない悪政ぶり、一日も早く何とかしなければと思います。当日は岡山県母親大会の日なので参加できません。

山本 美佐緒

申し訳ありませんが、地区のクリーン作戦(草刈り作業)日なので出席できません。ご盛会をお祈りしています。

米山 加住女

案内ありがとうございます。気持ちは出席しています。私も九十六才になり家の者が出してくれません。皆様にくれぐれもよろしくお傳へください。先は御礼まで

和田 誠也

電話番号を変更しています。
0868-35-0638

他に 76 通のお返事がありました。
ありがとうございました

第 48 回自然歴史探訪 雲辺寺山から豊稔池へ

岡山支部 美甘 晃

5月27日(日)、高退教第48回自然歴史探訪の旅に参加した。今回は四国。香川県観音寺市の徳島・高知との県境に近いあたり。四国八十八箇所霊場の一つ雲辺寺と、灌漑用貯水池豊稔池(ほうねんいけ)の堰堤を中心とした一帯のバスによる周遊である。

いつものように午前9時、総社駅前に集合、総勢25名で出発した。天気にも何とか恵まれ、倉敷インターから瀬戸自動車道にのり、おなじみ瀬戸大橋を通過して一路四国へ。

まず訪れたのが萩原寺、四国別格二十箇所16番札所ということだ。文字通り9月ごろの萩が有名らしいが、あいにく季節外れ。しかし、山門あたりに幾枝か花をつけていた。参道にいくつかおみやげやクッキー販売の出店がならび、日曜を楽しむ人が三々五々訪れている。八十八箇所をツアーで全箇所巡った身ではあるが、ここはみなさんと同様さらりとお参りし、次の訪問地へ。別格とはいえ、なかなか立派で美しい寺院であった。

次は雲辺寺が原監的所、戦争遺跡である。日清戦争後、善通寺に陸軍の師団が設立され、観音寺市の雲辺寺が原山麓は山砲射撃訓練所として接收され、終戦まで使用された。



細い山道沿いのトーチカは、砲弾の着弾地点を観測するためのもので、昭和初期に設置されたという。内部に入ると分厚い壁に細長いのぞき穴が水平に数メートルほどもあいている。縦幅は十数センチ。ただし、今そこからのぞけるのは木々の緑ばかりだ。異様な姿が、過去の日本の歴史を伝えている。戦争遺跡は日本いたるところにあるのではなかろうか。

昼食は雲辺寺ロープウェイの山麓駅そばの雲海亭で。うどん、そばが中心の食堂で。そば定食を楽しんだ。25名という人数に、男性スタッフ二人が大忙しで対応

してくれたが、ほかのお客さんに若干迷惑をおかけしたかも。ここでお詫びをしておきたい。

昼食後はいよいよ雲辺寺ロープウェイで雲辺寺山へ。雲辺寺は四国八十八か所霊場66番札所で、徳島県雲辺寺山の山頂付近にあるのだが、80年代に香川県側からロープウェイが開通し、一気に参拝が容易になった。観音寺市街や瀬戸内の海を眺めながら7分程度で山頂に到着、歩道沿いの幽玄な五百羅漢像に迎えられる。なかなか壮観な光景で、皆さんも興味津々といったところだ。さすがに歴史があり、杉の大木の中の参道をぐるりと徳島側に回り込んで、壮大な本堂や薬師堂に参拝。ただし、木造でない鉄筋コンクリートらしき建物が多く、かなりの違和感あり。百年後も価値あるものであってほしいと願う。前回別のツアーで訪れたときは真冬で、スキー場がにぎわっていてリフトも動いていたが、今回はロープウェイともども閑散。お遍路さんの姿もあまりなく、菅笠姿の中国系の女性の二人連れに出会ったのみ。最後に山頂の毘沙門天の巨象に上って急遽下山となった。

最後の訪問は今回のハイライト豊稔池である。観音寺市大野原町、地元農民の熱意の出役で1929年(昭和4年)に竣工した灌漑用の貯水池だ。長さ145m高さ30m



の「石造りマルチプルアーチダム」で、中世ヨーロッパの古城を思わせる威容である。5個のアーチは真下から見上げると青空を背景にごつごつしながらも整然とした曲面をなぞって頭上にそびえたつ。幹事諸氏の下見の折には、突き出た6個の扶壁から勢いよく放水されていたということだが、今回はそれがなく、かえってその雄姿、美しさが堪能できた。

それにしても、百年近く前の日本の一地方にこれほどのものがつくられていようとは！今風に言うと、驚きと感動が止まらない。参加者全員去りがたい気持ちを振り切って記念撮影ののち、ダム湖を見学、そのままバスで帰路についた。

総社駅には16:40頃に到着、今回も充実した気持ちを噛みしめながら解散、次回が楽しみである。

「年金引き下げ違憲訴訟を勝ち抜くために」

全日本年金者組合岡山県本部書記長 田中 博

7月8日の高退教第39回定期総会で『年金引き下げ違憲訴訟』の支援が議決されました。そして、10,083円の違憲裁判支援募金を寄せていただきました。ありがとうございます。

私たち年金者組合が2015年5月に原告56人で「年金引き下げ違憲訴訟」を提訴して3年余が経過しました。岡山県では第一次(特例水準の解消による減額処分は憲法違反)が56人、第二次(マクロ経済スライドを適用した年金減額は憲法違反)が203人で原告人数は重複もあり217人です。これまで第一次9回、第二次6回の口頭弁論が開かれ、その都度90人を超える参加があり、傍聴席を埋めてきました。公正判決を求める署名(裁判の併合審査を求める署名も含め)は7,966筆を提出しています。

全国的には44都道府県5168人が39の地裁に提訴し史上最大の社会保障裁判になっています。この年金裁判は憲法訴訟です。憲法25条、13条、29条が問われている裁判です。国の立場は年金生活者がどのような生活をしているか、暮らしをしているかということより、年金制度をとにかく形だけでいいから維持する、莫大な積立金は維持するという立場です。年金だけで生活できない人が数百万人いることはみとめるものの、憲法25条は年金だけで保障されるものではない、いざとなったら生活保護があるから、年金だけで健康で文化的な最低限度の生活ができなくても問題ないと主張しています。年金を下げるのは「公的年金制度への不信・不満が高まり、国民年金の納付率が下がっている。この不信解消のために払いすぎている年金受給者に対する年金を下げなければならない」という本末転倒のものです。



裁判は、原告側は今後さらに学者の意見書も提出し、国との論争点を明確にして証拠調べ（立証活動）に入っていく流れになります。原告の陳述書は 72 人が提出し、弁護団（団長則武弁護士を含め 5 人）がこれをまとめ、準備書面として裁判長に提出しました。次回 10 月 2 日は 100 号法廷でパワーポイントを活用した弁護団の陳述が行われます。今後、原告の陳述書づくりをさらに進めるとともに、さらに原告側から総論立証、学者、現役世代、若者からの証人をたて、年金制度と社会保障をめぐる本質的対立点を法廷で議論し、安心できる年金制度の確立は可能であることを明らかにしていきます。

私たち年金者組合は、①年金減額するな、②最低保障年金制度をつくろう、③裁判所は憲法にのっとって公正な判決をおこなえ、④年金は毎月支給しろ、などの宣伝・署名を旺盛に進め、さらに幅広い団体の協力も得て世論と運動を広げるとりくみを進めます。

来年中にも地裁判決が出される情勢の下で、これから 1 年間、裁判が始まって 3 回目の裁判を支える募金活動をすすめます。引き続きの募金へのご協力をお願いします。また、10 月 2 日（火）14：30 岡山地裁集合の第 10 回口頭弁論にご参加ください。100 号法廷の傍聴席は 100 席あります。お願いばかりで恐縮ですが、「年金裁判を支援する岡山の会」への入会、「公正判決を求める署名」もよろしくをお願いします。

編集後記

*正保宏文さんの連載「無謀な世界一人旅」（第 3 回）が、2 号続けて休載となってしまいました。申し訳ありません。

次号にご期待ください。

*いつものことですが、メ切ぎりぎりの編集作業に追われました。ページ数を、表紙を含めて 4 の倍数にするのが、一苦勞。とりわけ今回は、16 ページに収まらない紙面を 20 ページにするのに悪戦苦闘。

*台風 19 号と 20 号が接近中とか。21 日の印刷、23 日の発行のそれぞれ予定を滞りなく終わられますように。（居郷 毅）